羽村 春爛漫 福生

阿蘇神社から睦橋まで、花と緑のネットワーク 8km！

お散歩MAP

コリャ ベンリ！
ウキウキ・ワイワイ
楽しんじゃおう！

春爛漫 スポットのご紹介

❶ 阿蘇神社
推古天皇の時代に創設されたと伝えられる市内で最も古い神社。本殿は1676年に建造されたもので、江戸時代の神社建築として資料的価値が高いため、本殿は都指定有形文化財になっている。

❷ 一峰院の鐘楼門
江戸時代末期の建立。羽村に縁の深い宮大工、小林藤馬（播磨）の作品のひとつ。軒に見える扇垂木が特徴。市指定有形文化財。境内には清らかな湧水がある。

❸ 根がらみ前
今では羽村の貴重な水田地帯。春は色とりどり36万本のチューリップが咲き競い、秋には稲穂の海が金色に染めあげる。スイレンや古代の大賀ハスも植えられており、一峰院から流れる鐘の音がタイムトラベル的絨毯の役割を果たしている。

❹ 水上公園
迫力の全長45mのスライダー。海や川を体感できる流水プール、幼児用プールなど魅力一杯の水上公園です。夏にお出かけください。

❺ 玉川水神社
東京水道の守護神。玉川上水の完成した承応３年（1654年）、水神宮としてこの地に祀られ、以来350年以上にわたり水への感謝の心が江戸町民、沿線住民から寄せられており、明治26年玉川水神社となった。羽村堰の平安を祈るような佇まいは趣がある。

❻ 羽村の堰
玉川上水の出発点。多摩川の水を取り入れる堰。かつてその美しい景観から「羽衣の堰」とも呼ばれた。江戸時代に築かれ、材料こそコンクリートに替わっているが、現在も水道施設として機能している。

❼ 玉川兄弟の像
玉川上水開削の功労者玉川庄右衛門・清右衛門兄弟の像。昭和33年に建立された。兄弟は幕府から恩賞として「玉川」姓と200石を賜った。測量用の縄を持って立つのが兄の庄右衛門

❽ 大ケヤキ
玉川上水にかかる羽村橋と奥多摩街道をへだてそびえる大樹で、幹の周囲は7.2m、高さ25.0mもある大ケヤキです。樹齢は400年とも800年とも言われている。都指定天然記念物

❾ 稲荷神社
本殿は宮大工小林藤馬の作。羽村市指定有形文化財。境内に保管されている八雲神社の山車は春の祭礼（4月の第二土曜日が宵宮、日曜日本祭り）には市内を巡り、神輿の川入れは人々の人気を集めている。

❿ ルーテル教会
1952年創立、96年に建築家泉本晋一設計により新築されたユニークな建築。桜花とのコンビネーションは必見。運が良ければ毎週日曜午後なら屋内参観も可能（高井保雄牧師談）

⓫ 中里介山の墓
昭和19年に59歳で亡くなるまで書き続けられた未完の大長編小説「大菩薩峠」の著者の墓。禅林寺境内裏手の墓地にある。

⓬ 禅林寺
臨済宗建長寺派。山号を東谷山と号す。創建は中世末、江戸後期の火災により諸堂は消失した。羽村の名主が起こした天明一揆をたたえた碑がある。境内裏手の墓地には文豪中里介山の墓がある。

⓭ 羽村郷土博物館
羽村の自然・歴史・文化を知ることが出来る博物館。特に、玉川上水・養蚕・小説『大菩薩峠』の作者中里介山についての展示が充実している。屋外展示として茅葺(かやぶき)民家の旧下田家住宅などもある。

⓮ まいまいず井戸
五ノ神社内にあるすり鉢状の井戸。武蔵野大地では水源が深く、技術が発達していなかったためこのような井戸となった。その姿が、かたつむりに似ていることから、この名がある。

⓯ 羽村市動物公園
小さな動物園ならではのアットホームな雰囲気が魅力の動物公園。園内にはホロホロチョウやクジャクが放し飼いされ、「どきどきハンズオン」では、ヒヨコやモルモットに触ることができる。大きなキリンさんもいるよ

⓰ 長徳禅寺
臨済宗建長寺派。本尊十一面観音菩薩脇立像（不動明王・多聞天王）。長徳寺十八世巨量和尚は優れた漢学者で、明治6年当寺で福生学舎（福生第一小学校の前身）が開かれ漢字を教えた。本堂は現住職亮堂和尚の平成8年に落慶

⓱ 田村酒造場
文政5年（1822年）田村家九代目勘次郎創業の蔵元。酒造りを始めるにあたり、敷地内に井戸を掘ったところ清冽な泉が湧いて出た。（秋父古生層の岩盤からの秩父奥多摩伏流水）現在もこの嘉（よき）泉を仕込み水として使い、伝統の「嘉泉」を頑なに造りつづけている。

⓲ 清岩院
約600年前（室町時代）に建立された禅宗の古刹。透明な湧き水が流れる境内には、めずらしい車地蔵や弁天堂があり、風格のある本堂と日本庭園の雪景色は格別です。湧水は東京の名湧水57選に選ばれている。

⓳ ほたる公園
拝島崖線の各所に湧出する地下水を利用して、地元のほたる研究会がこの施設を利用してほたるを育てている。毎年6月にはこのホタルが夜空を一斉に乱舞し、私達に忘れることの出来ない幻想的な初夏の想い出を演出してくれる。

⓴ 明神下桜堤
睦橋から五日市線鉄橋・柳山公園まで多摩川左岸約2.5kmに展開する桜堤は壮観。毎年この桜を眺めながらの各種イベントが実施されて多くの花見客が訪れる。広々とした河川景観は一年を通して散歩の名所となっている。

㉑ 熊川神社
福生十景にも選ばれており、本殿は東京都指定有形文化財および福生市登録有形文化財に指定されている。またここだけで七つの福神を拝むことができる。

㉒ 石川酒造
多満自慢でおなじみの酒蔵。古い建物を利用したレストランもあって熟年層だけでなくヤングカップルの訪問者も多い。あまり知られていないが、日本のビール醸造の草分け的存在。いまでもその歴史を残す大麦酒釜とつくりたて地ビールの味に驚く人が多い。

㉓ 茶室福庵
文化の森の静かなたたずまいの中にある純和風の建物。茶道をはじめ、俳句、琴、華道、会議等、多目的に利用できる。道具の貸し出しも行っている。

㉔ 水喰土公園
道の向こうに江戸時代が見えてきそうな趣を残した公園。名前の由来は、玉川兄弟が玉川上水を開削した時、水がこの場所で飲み込まれてしまったことから「水喰らい土」と呼ばれるようになった。上水はルートを現在位置に変更して完成された。ここから拝島駅まで上水に並行する遊歩道は一度歩けば忘れられない。

㉕ 福生一中
昭和22年創立の福生で最も歴史ある中学校。平成9年に創立50周年を迎えた。広い校庭には松林があり、桜花の下に学ぶ中学生たちの姿を見れば、誰しも心に残る青春の想い出と重なって郷愁をそそられる。（※校庭内は入れません）